広報

いまかね

発行　今金町役場　　編集　企画室　　印刷　野宮印刷　　43. 5.10 発行



5月のこよみ

1日	メーデー
1日 7日	みどりの週間
3日	憲法記念日
5日	こどもの日
8日	世界赤十字デー
11日 12日	春の交通安全運動
12日	母の日
18日	国際親善デー

シイタケ栽培高まる

明治百年記念緑化運動が各地でさかに行なわれているおり、本町ではシイタケ栽培品評会が開催された。シイタケ栽培は年々さかんで町内で約千本のホダ木が栽培されている。これらは老人や主婦でもかんたんに作業ができるからである。またホダ木も豊富で手がるに入手できる農家の副業として十分採算がとれることからシイタケ栽培の普及はさらに高まるものと期待される。しかしこれにあわせての緑化運動もたいせつである。みんなで木を植え輝く未来をつくりあげよう。

5月

No.119

世帯と人口　世帯数 2,813　　人口 12,212（男5,977　女6,235）43, 4 .30現在

育てよう農業後継者

都会流出で人口減る
農業後継者対策協議会発足

本町の農業は、利別川両岸流域を主体とする総合かんばい事業の着工と併行して、農業構造改善、ほ場整備、あるいはパイロット事業と逐年広範囲にわたり事業が促進されています。このためそれぞれの農家はその経営にあわせ大型機械力の導入を図り、合理的な労働力の調整を図つています。

しかし依然として労働力問題は解決されず、とくに農業後継者対策は深刻ですこうしたなかで町はこのほどこの問題解決策として〝今金町農業後継者育成協議会〟を発足させたわけですが、各農家は将来の経営とにらみあわせ、この問題をじつくり検討してみましょう。

都会流出で農業にわずか十五人

最近「いまはおかしな時代で、老人や婦人はほうつていてもふえるが、若いものはほうつておくと消えてしまう」とよく耳にすることばがあります。たしかに農村から流出する青少年は少なくない。まず町が調べた最近の学校基本調査を見ますと、中学校の卒業者は毎とし三百人あまりですがこの六十%前後が高校に進学しています。残る四十%はだいたい就職されおもに都会に流出するようです。

まず四十二年三月の就業状況を見ると建設業三人、製造業五十一人、卸小売業五人、サービス業十二人、その他三人、農業十五人となつています。このうち愛知、東京、群馬、富山、石川県などの道外に四十三人が就職しており、道内も加えると、かなりの流出となつています。さらに町内にとどまる十五人の農業従事者を見ると男五人、女十人で農業後継者はしだいに減少の傾向にあり深刻な問題です。人口の減少はここ数年このような調子でつづいています。



自給生産から商品生産へ

農村はともすれば封鎖的な風潮が見られ、新らしい社会への適応がむずかしいとか、三ちやん農業といわれたのも数年前の話であり、現在は経済成長にともない機械力の導入から水田も大型化され、酪農、畑作経営もかなり近代化され、自給的生産から商品生産への発展と転機としています。

このような世代に農村の後継者対策が望まれているのはとりもなおさず都会流出が大きな原因でもあるようです。ちなみに昭和四十年に開設の本町の農業学園の運営状況を見ると、四十年度二十八名、四十一年度二十六名、四十二年度二十四名で本年度は十五名と年度を追うごとに減少しています。とくにことしの男の学園生は四十年度に比べて十三名が減りその対策について事務当局も苦慮したしだいです。

農家も真剣に考えるべきへだ

以上のことから町は今金町農業後継者育成協議会を発足問題点の究明に乗り出すことになりました。まず推進計画事業の方向づけと次のことがらをすすめることになりました。

1 親子対話の集い
2 父子契約の研究
3 団体の連絡調整
4 実践技術の交換
5 先進地視察、報告会
6 善行表彰

このように各事業をもりあげこんごの対策について関係者と協議することになつていますが、町はもちろんのこと、各関係団体の意見をまとめるとともに、直接農業を手がける農家側も積極的にこの問題を研究すべきでもあり、これこそ真の農業振興策の大きな課題でもあります。これら後継者対策は農家ばかりでなく中小企業者にもあてはまることで子弟の育成についてそれぞれの立場から原因を探究、明るい町づくりに全力を傾けることが町の発展につながることでありあます

写真＝暗きよ排水づくりにはげむ学園生

5・6月の納税（納期）

固定資産税	（2期）	5月31日
軽自動車税	（年分）	5月31日
国民健康保険税	（1期）	6月30日

横断中の交通事故をなくしよう

あそびません
こわいくるまの
とおるみち

えぞ地が北海道に改められて百年

北海道百年という北海道にとってまことに意義深い年で、明治政府が誕生し、明治二年に北海道開拓使が設けられ「えぞ地」を「北海道」に改めてから、ことしがちょうど百年にあたります。

明治新政府が誕生すると産業を振興し国力を高めるために、新天地「北海道」の開拓をとくに重視し、明治二年（一八六九年）七月には開拓使を設け、本道の開拓に力を注ぐことになりました。

祝典は九月二日

このように、開発の新らしい体制がとられたのを機会に「えぞ地」を「北海道」に改めたのが明治二年八月十五日のことで、いまのこよみになおすと九月二十日です。道ではこれを記念する祝典を行うことになりましたが、旧暦のままでは八月十五日国の行事ともかさなりますし、九月二十日ではやや寒く、農村でも忙しくなることから、九月二日を記念祝典の日と決めました。この日が北海道に改める開拓使布告を出した日でもあります。

全町民も参加

北海道百年は町や道庁だけのお祭りではありません本道の開発が道民全体の協力によって進められていることを考えますと、百年記念も道民全体が協力し、参加して行なうべきでもあります。これを機会に今金町でもいろいろの事業を計画し、実施することになっていますので、町民こぞって参加協力しましょう。

おもな行事

1、町旗の作成（原旗も）
2、記念式場に町旗を掲げ代表を参加させる。
3、地域産業の振興と緑化思想の啓発に町有林造成を図る。
4一戸一本植樹運動をひろめ緑化思想を普及する
5、森林組合の協力による青少年林業グループの育成を図る。
6、郷土樹種五十種以上を植栽、庁舎前に小公園を造成する。7、学校林記念植林を推進する。
8、上の国、北桧山、厚沢部各町で開催の桧山地方スポーツ大会に参加する。

住いと緑化

農村風景を美しく特色づけているのは屋敷林です。道南のいたるところで農家をとりまく屋敷林のある風景は、私たちの祖先がながい間その土地の生活をより住みやすくするために生れたものです。町内でもこの特色をもっているのが神丘地区です。

魅力ある農業経営も、力強い郷土愛もこうした美しい環境から生れるわけですこれからは、将来のことを考えて、どんどん木を植え私どもの故郷を〝みどり〟にしたいものです。

それでは、これからの農家の緑化はどういう姿が一番よいでしょうか。本州の美しい屋敷林をしらべてみると、どれもがその土地の生活にあった植え方です。

1、寒さを防ぐために北側に厚く植えられ広さもたもたれています。これらは建築材、薪材をうみだすためでもあります。

2、西側は西日をさけるため幅狭く、いつも緑の葉をつけている木が多い。

3、季節によって吹く風をさけるように工夫していたり、高い生垣が家のそばにつくられています。

4、そのほか特殊の果樹林が家のまわりをかこんでいるのも地方の特色であります。

こうしたことが北国の農家の生活にあった屋敷林の造成でもあります。つぎに屋敷林に適する樹木としては

上中木＝トドマツ、エゾマツ、ヒダカゴヨウマツ、イチキ、ドイツクロマツ、ストローブマツ、チチヨウカバ類、カツラ類、ヤチダモ類、エンジュ、ヤチダモ、コブシ、キタカミド、サクラ類、カエデ類、クリクルミ類、ポプラ、プラタナス

灌木類＝ウツギ類、アジサイ類、ツゲの類、バラ、ボケ、シャクナゲサツキの類。

生垣用＝ヒバ類、カエデ類イチキ、バラ、ツツジ、ライラック、アメリカメギセ、アカシヤ、ポプラ。

時間外の電話は

執務時間外の電話は必ず次の電話をご利用下さい。
②―〇一一九
②―〇一二〇　当直室

町総合計画審議会委員＝20人委嘱

地域の開発をすすめ、住民福祉の増進をはかるには長期的かつ総合的な視野にたった計画が必要であると今金町総合計画審議会が新年度から発足することになりました。

この第一回審議会が一日午後一時から役場大会議室で開かれ、こんごの計画策定など作業のすすめ方などを協議しました。また委嘱された委員は次のとおり

曽我非定一　伊藤綱義
加藤五郎　藤村徳蔵
丸山九内　大西信明
富森武雄　早川吉郎
金山政義　佐藤健
桜木武雄　岩村勉
井上幸吉　清水健次
清水正義　清水キン
南川豊　工藤栄作
伊藤一治　大場功

風雪百年輝く未来
えぞ地を北海道と改めてから
百年にあたります
HOKKAIDO 1869 1969



堤防用地の使用は禁止されている

堤防の保全および水防活動上の必要から堤防堤内ののりじり（法尻）から十メートル以内の使用または収益が禁止されています。

例えば牛馬の放牧や田畑の耕作などです。これらは人工災害を誘発する大きな原因にもなります。また使用した場合は原状回復をしていただくこともありますので十分注意ください。

（函館開発建設部）



TVの函館ローカル 11月から見られます

NHK函館放送局は桧山海岸地方の難視状態を改善するため、いま大成町長磯地区にテレビ中継局を建設中です。完成は十月下旬ですので十一月から函館ローカルテレビが今金町でも見ることができます。この中継は函館を親局に江差、大成を経て北桧山局から電波を送り出すことになっています。また北部桧山地方はこれまでどおりVHF帯の電波なのでコンバーターの必要ありません。これでやっと難視が解決され毎日ローカル放送が見られます。

また民間放送局も共同建設のかまいだけに、話しあいいかんによってこれもまもなく解決されそうです。

⊙テレビの受診料がかわりました。

カラーテレビは一か月四百六十五円、白黒は三百十五円です。半年分でカラー二千五百六十円、年払いは五千百十五円と三千四百六十五円とかなり割引になりべんりな予金口座払いもあります。

国家公務員試験の申込

四十三年度各種国家公務員採用試験の申込期間は次のとおりです。

○上級甲種試験5月1日～22日
○上級乙種試験（甲種と同じ）
○中級試験9月25日～10月16日
○初級試験（第二回）7月1日～25日
○航空管制官試験9月2日～25日
○海上保安学校学生試験11月20日～12月11日
○気象大学学生試験11月20日～12月11日

札幌オリンピック 標語募集

◇作品のねらい
札幌オリンピックを成功させる要因を効果的に表現する。

◇応募資格字数は制限ない

◇応募用紙官制はがきに一枚一点とし、住所、氏名年令、勤務先または学校名を明記する。

◇締切り六月一日（当日消印有効）

◇あて先札幌市北一条西四丁目札幌市役所オリンピック準備室

◇発表六月二十三日◇
賞金入選一点五万円佳作十点一万円

43年度酪農事業団貸付牛の借入申込について

⊙貸付条件
1 成牛一頭以上七頭以下の飼育農家
2 将来酪農経営を目的する農家
3 貸付は五年間で無利子、五年後に貸付当時の価格で返済する。
4 九月―十月の間に貸付
5 五月末日まで役場産業課畜産係へ申込むこと。

よろこびかなしみ 4月分

出生20名石川功治、柴田征幸、佐藤美由紀、岡嘉代子、河端かすみ、川野靖浩、小杉智子、佐々木エリ子、中谷朋美、畠山佳代子、岡林麻美、佐藤千恵植村美香（今金）中山真一、山田伊久子（美利河）本間泉（金原）大谷秀明（神丘）中島ルミ子（中里）山田哲也（鈴金）北館明美（八束）

死亡5名小沢ひで76青羽清太郎58（今金）中塚太郎93（八束）今野なつ67（住吉）栗谷川徳太郎82（みかげ）

婚姻16組佐々木哲也＝篠田泰子、山崎太郎＝撫養アサ、岩橋真夫＝山本ヒデ子、境田国夫＝伊藤ユミ子、長谷川良作＝上田利子、山崎武美＝小林恵子、鷲野竹義＝大内良子、池田常敬＝坂本エミ子、佐藤紀矩夫＝吉田初恵、上村源一＝神崎喜久代、千代谷岩＝山石トメノ、川合広＝佐藤美津枝、鎌田善太＝伊藤愛子、篠森藤太郎＝小山田トミ子、西芳昭＝犬塚厚子、吉田誠＝佐藤サツキ。

永久選挙人名簿を確かめましょう

第八回参議院議員通常選挙は七月七日に予定されています。国民がその権利を行使ずるためにも真剣に検討して必ず投票しましょう

次に該当する方は至急登録手続して下さい。

昭和二十三年六月二日までに出生した満二十才の方。

四十二年十二月二日から四十三年三月二日までに転入した方。

選挙人名簿にもれた方（三月登録期日に申出ない方）

以上の方は六月一日までに登録申出書を提出下さい

今金町選管委

人物往来（四月分）

二日 山田支長庁転任あいさつ
三日 桧山支庁地方部長事務連絡
十日 桧山支庁飯沼技師、常田技師転谷あいさつ
十一日 酪農開発事業団渡辺調査役事務連絡
十七日 函館土地多田所長転任あいさつ
二十三日 高根田支庁長、仲村経済部長着任あいさつ
二十六日 支庁渋谷耕地課長着任あいさつ